



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 日本シイエムケイ株式会社  
 コード番号 6958 URL <http://www.cmk-corp.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高井 建郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 事務管理部長 (氏名) 岡部 明広

TEL 03-5323-0231

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	41,981	17.3	2,136	148.4	1,984	155.5	1,630	103.1
29年3月期第2四半期	35,785	0.5	860		776		802	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,740百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 3,111百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	27.54	
29年3月期第2四半期	13.56	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	94,660	52,904	52.4
29年3月期	93,748	51,549	51.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 49,625百万円 29年3月期 48,255百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		6.50	6.50
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成30年3月期の期末配当予想につきましては、未定であります。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	6.1	4,000	50.8	3,700	40.7	3,000	39.3	50.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	63,060,164 株	29年3月期	63,060,164 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	3,862,324 株	29年3月期	3,861,494 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	59,198,376 株	29年3月期2Q	59,199,243 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善が進むなど、緩やかな回復傾向が続いております。また、米国経済は堅調な雇用情勢や個人消費の拡大を背景に景気拡大が続いており、欧州でも景気回復が持続しております。中国経済についても政府の景気下支え策などにより、回復傾向となっております。しかしながら、東アジア地域の地政学リスクが高まるなど、世界経済の先行きにはやや不透明感も残りました。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載基板市場においては、グローバルでの新車販売台数増加、PHVやEVなどの普及、先進運転支援システム(ADAS)の普及などにより市場拡大が続いており、昨年来、当社受注は増加基調が続いております。当社グループにおきましても、増産に対応するため、生産能力拡大のための設備投資と、生産性向上を同時に進めております。これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は419億81百万円(前年同期比17.3%の増収)となりました。

利益面につきましては、原材料価格上昇の影響はあったものの、国内外の全工場で高稼働を維持していることや、生産性向上による収益改善が進捗したことなどから、当第2四半期連結累計期間の営業利益は21億36百万円(前年同期比148.4%の増益)となりました。また、営業利益の改善により、経常利益は19億84百万円(前年同期比155.5%の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億30百万円(前年同期比103.1%の増益)となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

#### (日本)

国内の自動車生産は、小型車や軽自動車の販売が堅調なことに加え、輸出が生産量を下支えしていることもあり、前年を上回る生産が続いております。また、ADASの普及が進むなど、自動車の電装化が進展していることも、当社受注増加に寄与しました。

これらの結果、車載分野での販売が増加し、売上高は249億48百万円(前年同期比11.5%の増収)となりました。

利益面では、主要工程の生産性向上活動の成果が収益改善に貢献したこと、売上が増加したことなどから、営業利益は12億79百万円(前年同期比100.3%の増益)となりました。

#### (中国)

中国は、年初からの小型車減税縮小を受けて、新車販売の伸びが鈍化しておりますが、日系完成車メーカー各社は、積極的な新車投入などにより好調な販売を維持しています。

このような市場環境の中、当社においては、好調な車載向けに加えて、ゲーム機向けの販売も増加し、売上高は81億35百万円(前年同期比35.4%の増収)となりました。

利益面では、売上高が増加したことなどから、営業利益は6億32百万円(前年同期比106.8%の増益)となりました。

#### (東南アジア)

東南アジア経済は、輸出主導の景気回復が続いており、自動車生産台数も回復傾向が続いております。

このような市場環境の中、当社においては、車載向けを中心とした受注増加に対応するため、タイ工場の生産能力増強を進めた結果、売上高は59億17百万円(前年同期比26.3%の増収)となりました。

利益面では、生産能力増強により収益性が高まったことなどから、営業利益は2億21百万円(前年同期比66.6%の増益)となりました。

#### (欧米)

欧米経済は、良好な雇用環境を背景に個人消費が拡大するなど、景気回復が続いております。

このような市場環境の中、当社販売は、車載向けが増加し、売上高は29億79百万円(前年同期比9.6%の増収)となりました。営業利益は1億84百万円(前年同期比46.9%の増益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、529億60百万円となりました。これは、主に現金及び預金が50億27百万円減少し、受取手形及び売掛金が22億77百万円、原材料及び貯蔵品が4億18百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.8%増加し、416億29百万円となりました。これは、主に有形固定資産が20億97百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、946億60百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、264億64百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が7億73百万円、賞与引当金が1億37百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11.1%減少し、152億90百万円となりました。これは、主に長期借入金が16億44百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.1%減少し、417億55百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、529億4百万円となりました。これは、主に利益剰余金が12億45百万円、その他有価証券評価差額金が4億11百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が2億84百万円減少したことなどによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて50億27百万円減少し、176億44百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は19億円(前年同四半期は15億20百万円の増加)となりました。これは、主に減価償却費19億80百万円、税金等調整前四半期純利益19億40百万円の計上などによる資金の増加、売上債権の増加額24億39百万円による資金の減少などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は39億3百万円(前年同四半期は9億32百万円の減少)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出40億86百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は27億10百万円(前年同四半期は16億99百万円の減少)となりました。これは、主に借入金の返済による支出55億65百万円、配当金の支払額3億84百万円などによる資金の減少、借入れによる収入39億14百万円による資金の増加などによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当第2四半期末の中間配当につきましては、業績改善は着実に進んでいるものの、財務体質の強化を図るため、誠に遺憾ではありますが見送りとさせていただきます。

また、当期末配当金につきましては、引き続き業績改善と財務体質の強化に鋭意努めてまいります。当社を取り巻く事業環境は不透明であることから、引き続き未定とさせていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,671	17,644
受取手形及び売掛金	22,166	24,443
有価証券	46	17
商品及び製品	3,273	3,612
仕掛品	3,408	3,582
原材料及び貯蔵品	1,829	2,247
その他	1,312	1,449
貸倒引当金	△36	△37
流動資産合計	54,672	52,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,220	10,306
機械装置及び運搬具（純額）	11,026	12,423
土地	8,288	8,272
建設仮勘定	1,462	2,004
その他（純額）	1,098	1,187
有形固定資産合計	32,096	34,194
無形固定資産		
のれん	226	204
その他	195	177
無形固定資産合計	421	382
投資その他の資産		
投資有価証券	3,390	3,992
退職給付に係る資産	832	831
その他	2,282	2,252
貸倒引当金	△38	△23
投資その他の資産合計	6,466	7,052
固定資産合計	38,984	41,629
繰延資産		
社債発行費	91	70
繰延資産合計	91	70
資産合計	93,748	94,660

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,543	12,316
短期借入金	5,407	5,418
1年内償還予定の社債	560	560
未払法人税等	323	369
賞与引当金	374	511
事業構造再編費用引当金	131	131
その他	6,650	7,157
流動負債合計	24,990	26,464
固定負債		
社債	6,960	6,680
長期借入金	8,468	6,824
退職給付に係る負債	43	43
資産除去債務	165	166
その他	1,571	1,576
固定負債合計	17,208	15,290
負債合計	42,199	41,755
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,306	22,306
資本剰余金	16,628	16,628
利益剰余金	9,773	11,019
自己株式	△3,133	△3,133
株主資本合計	45,575	46,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	886	1,298
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	1,561	1,277
退職給付に係る調整累計額	232	229
その他の包括利益累計額合計	2,679	2,805
非支配株主持分	3,294	3,279
純資産合計	51,549	52,904
負債純資産合計	93,748	94,660

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	35,785	41,981
売上原価	31,178	35,658
売上総利益	4,607	6,322
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,282	1,368
賞与引当金繰入額	42	46
退職給付費用	26	18
貸倒引当金繰入額	0	△14
その他	2,395	2,767
販売費及び一般管理費合計	3,747	4,185
営業利益	860	2,136
営業外収益		
受取利息	26	27
受取配当金	40	45
その他	192	169
営業外収益合計	260	241
営業外費用		
支払利息	122	137
為替差損	—	81
その他	220	175
営業外費用合計	343	394
経常利益	776	1,984
特別利益		
固定資産売却益	341	5
受取保険金	—	6
補助金収入	—	17
特別利益合計	341	29
特別損失		
固定資産売却損	15	1
固定資産除却損	144	72
特別損失合計	160	73
税金等調整前四半期純利益	958	1,940
法人税等	104	268
四半期純利益	853	1,671
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	802	1,630



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	853	1,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	411
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	△4,016	△340
退職給付に係る調整額	17	△3
その他の包括利益合計	△3,965	69
四半期包括利益	△3,111	1,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,596	1,755
非支配株主に係る四半期包括利益	△514	△14

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	958	1,940
減価償却費	2,108	1,980
受取利息及び受取配当金	△67	△72
支払利息	122	137
為替差損益(△は益)	12	20
固定資産売却損益(△は益)	△325	△3
固定資産除却損	144	72
売上債権の増減額(△は増加)	△1,502	△2,439
たな卸資産の増減額(△は増加)	△276	△976
仕入債務の増減額(△は減少)	1,356	954
賞与引当金の増減額(△は減少)	154	137
その他	△1,071	412
小計	1,614	2,161
利息及び配当金の受取額	48	77
利息の支払額	△123	△134
法人税等の支払額	△18	△203
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,520	1,900
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,944	△4,086
有形固定資産の売却による収入	1,147	161
無形固定資産の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△128	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△932	△3,903
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	3,803	3,814
短期借入金の返済による支出	△4,106	△3,815
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△1,628	△1,749
社債の発行による収入	296	—
社債の償還による支出	△250	△280
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△142	△207
債権売却の増減額(△は減少)	357	△107
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△384
非支配株主への配当金の支払額	△30	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,699	△2,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,430	△313
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,542	△5,027
現金及び現金同等物の期首残高	21,582	22,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,040	17,644

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,374	6,008	4,683	2,719	35,785	—	35,785
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,204	4,480	3,157	—	8,842	△8,842	—
計	23,578	10,489	7,840	2,719	44,628	△8,842	35,785
セグメント利益	638	305	133	125	1,203	△342	860

(注) 1. セグメント利益の調整額△342百万円には、セグメント間取引消去178百万円、全社費用△521百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,948	8,135	5,917	2,979	41,981	—	41,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,125	6,016	4,043	—	11,184	△11,184	—
計	26,074	14,151	9,960	2,979	53,166	△11,184	41,981
セグメント利益	1,279	632	221	184	2,317	△180	2,136

(注) 1. セグメント利益の調整額△180百万円には、セグメント間取引消去339百万円、全社費用△520百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。